

# NZ遠征:シンガポール 乗り継ぎ

2024-11-30

京都市 福原浩一

今回の NZ 遠征について、フライト情報をまとめると、次の表の内容になります。

	出発		経由		到着
往路	関西空港	SQ619 →	シンガポール	SQ297 →	クライストチャーチ
4/26	10:55		16:40 19:50		4/27 9:30
復路	クライストチャーチ	SQ298 →	シンガポール	SQ618 →	関西空港
5/ 4	10:50		17:40 1:25		5/ 5 8:50

往路の乗り継ぎでは、3時間10分の待ち時間で、空港内をウロウロするとちょうど良い時間かと思います。復路では、7時間45分とそこそこ長く、今回、この時間(約5時間)を楽しく過ごす方法を検討します。ちょうど、今年の海外旅行は、9月中旬にシンガポールに行ってきたので、最新の事情をご紹介します。

## 空港施設

シンガポールチャンギ空港は、アジア随一の規模でハブ空港として旅客の乗り継ぎ時間に、飽きないサービスを提供しています。あらゆる種類の免税品店、レストラン街、リラクゼーション施設、各種庭園、アミューズメント施設(映画館等)、トランジット向け無料市内観光 など 多数の選択肢があります。そうした無料(一部有料もあり)のサービスを堪能することができます。

## 空港隣接 : Jewel (モール)

トランジットエリア内での散歩では制限されるため、飽きてしまうこともあります。それなら、隣接する巨大モールで散歩や買い物を楽しめます。一旦入国手続きを終えて、ターミナル1に向かい、徒歩でモールに入ります。ここは、2019年に開業した複合施設で、外見は近未来を彷彿させるガラス張りのドーム。内部に入ると中央に天井がから降ってくる筒状の滝(レイン・ボーテックス)がお出迎え。広大な空間で周囲は熱帯植物の庭園となっています。地上5階、地下5階のモール街には、250以上の店舗が並び、1階にある荷物預かり所で手荷物を預けたら、手ぶらでショッピング。少し飽きてきたら、植物園に足をのばして、散歩しましょう。また、地下2階のレストラン街では、おなじみのマクドナルド、星乃珈琲、スシローやご当地のアジアンフードが提供されており、ここ1カ所でシンガポールを満喫できること請け合いです。



## 市内観光

有名な、マライオン公園やマリーナ周辺のホテル(マリーナベイ・サンズ等)、ガーデンズ・バイザベイに造られたスーパーツリーなど、すべてがこの地区の入江周辺にまとまっていて、空港からは地下鉄で約1時間の距離。

周辺にはレストランやバーなど、華やかな施設が多数あり、夕方の時間帯に行けば、イルミネーションショーが楽しめます。こちらへは、Jewel同様に、トランジットエリアを出て、一旦シンガポールに入国する必要があります。往復で2時間ほどかかるため、観光するのは2~3時間ほど、マライオン公園で散歩して、イルミネーションショーを楽しむのがおすすめです。

## シンガポールでの入国/出国

チャンギ空港からシンガポールに入国するには、入国申請カード(略称：SGAC)の登録が必要になります。スマホでICA(シンガポール入国管理庁)のWebページから簡単に提出できます。詳しい記入方法は、JALなどのホームページで確認してください。主な情報は、氏名、パスポート番号、携帯電話番号、メールアドレス、目的(トランジット)、次のフライト番号などで、NZ にいる間に申請しておきます。審査は、無人の自動ゲートで、パスポートを差し込み、顔・指紋登録等をすれば、5分ほどで通過できます。また、出国についても、自動ゲートでパスポートの参照が終われば出国となり、トランジットエリアに戻れます。

